

近隣の自然の変化に目を向ける No. 43

「われらバラ科族 スモモもモモも梅も桜も

Plum, Peach, Ume & Cherry are one family」

2021年4月12日

No. 41 のサクラ特集アルバムのつづきをつくるために八重桜に注目して来た。これまでは染井吉野桜が日本中の人気を集め、マスコミに取り上げられるのに対して、八重桜は後追いの変種桜のように見て来たことを告白しなければならない。しかし、No.41 で紹介したC. イングラムの本によって桜の多様性の価値に気づかされたので、今年は新たな目で桜を追った。すると、関山、白妙のように広く分布している美しい八重桜に出会えた。黄緑色の桜・ギョイコウ(御衣黄)が交配によってつくられた八重桜であることも知った。さらに、ポテッと咲く桜のイメージが覆されるユニークな八重桜の存在も知った。椿やバラと同様、桜も交配種が多く、特異な名が付けられていて検索に苦労した。そんな中、完璧な「サクラ図鑑」に出会った、桜ファンの方は参照されたい。

http://www.hananokai.or.jp/sakura-zukan/yp_szukan/d/d3000.html

今回、花桃にも目を向けた。その学名をチェックする中で、桃だけでなく李(スモモ)も梅も、桜と同じファミリー(バラ科)に属することが分かった。そこで、同じアルバムに収めることにした。ここでも多様なかたち、色の美しさに魅せられた。